

防ごう！なくそう！

高齢者虐待

健康福祉課地域包括支援センター

☎(25)1182



虐待ってどんなこと？

高齢者（65歳以上）を世話する家族や親族、同居人または養介護施設従事者などによる高齢者虐待には、5つの種類があります。体はもちろん、心を傷つけること、世話をしないことも虐待です。

どうして虐待が起こるの？

本人に自覚がなくても虐待をしてしまっていることがあります。虐待は悪いことですが、虐待をしている人が悪いと決めつけてはいけません。介護のやりかたや認知症への対応が不適切なため、介護しているつもりで虐待になっていることがあります。また、介護疲れや「家族だからこそきちんとしなければ」という責任感から虐待が始まるケースも少なくありません。虐待をしている人、されて

いる人の両方を虐待から守るために、虐待を発見したら通報してください。

虐待かも？と思ったら…

虐待は早い時期に第三者が介入するなどして、虐待の悪循環を止めることが大切です。虐待を受けている高齢者を発見したり、「虐待かもしれない」と思った場合は、地域包括支援センターに相談・連絡してください。

なお、通報していただいたかたの情報は外部に漏れることはありません。また、通報が誤報であった場合も罪には問われません。

地域で虐待を防ぐために…

すべての人が、住み慣れた地域で安心して過ごすためには、地域で暮らす一人一人が虐待を未然に防ぎ、助け合える地域づくりに取り組むこと

が大切です。高齢者や高齢者を介護している人たちが地域から孤立してしまわないよう、高齢者や介護者を地域のみなさんと温かく見守り、支え合いましょう。

できることから行動しましょう

日常的な声かけ

日常的にあいさつを交わしましょう。また、元気がないようなときには、率先して声を掛けましょう。

見守り

夜になっても部屋の明かりがつかない、最近姿を見えないなど、虐待につながる小さなサインは外からでも確認できます。

相談をすすめる

介護に負担を感じている人がいたら、苦勞をねぎらい、地域包括支援センターなどへの相談をすすめてみましょう。

家族での話し合い

介護保険などのサービスを上手に利用し、無理せず、介護を抱え込まない方法を家族で話し合いましょう。



高齢者虐待の例

心理的虐待

- 排せつの失敗を嘲笑したり、人前で話して恥をかかせる
- 子ども扱いするなどして侮辱する
- 言うことを聞かないので、つい怒鳴ったり、ののしったりする
- 高齢者が話しかけているのを意図的に無視する

など

介護や世話の放棄・放任

- 入浴や体を拭くなどの世話をめったにしない
- おもらししないよう、水分を控えさせる
- 仕事が忙しいなどで、空腹状態を長時間がまんさせる
- 室内のゴミや汚物の処理を、後回しにする

など

性的虐待

- 排せつを失敗した罰として、下半身を裸にして放置する
- キスをしたり、性器を触ったり、セックスを強要したりする

など

身体的虐待

- 平手打ちをする
- つねる、殴る、蹴る
- やけどや打撲傷を負わせる
- 無理やり食事を口に入れる
- ベッドに縛りつける
- 薬を過剰に服用させる

など

経済的虐待

- お金を渡さない、使わせない
- 本人の家などの財産を無断で売却する
- 年金手帳や預金通帳などを管理し、本人の意思・利益に反して使う

など

